服務宣誓の重みは？

服務宣誓条例を改正　6 月定例会

6 月定例会に生駒市の新入職員の服務宣誓書の朗読、署名、押印を撤廃し、宣誓書の提出のみとする「職員の服務の宣誓に関する条例を改正する条例」案が提出されました。国からの行政文書のデジタル化の要請によるということですが、公務員としての基本姿勢を市民に誓う宣誓書をほかの行政文書と同列に扱うことに疑問があります。

デジタル化は否定しないけれど…

■この内容を簡略化できる神経を疑う

服務宣誓は、憲法第 99 条に基づき地方公務員法第 31 条に義務付けられています。手法は自治体ごとに条例で定めており、生駒市では右の青枠内のような宣誓書を上級職員の面前で朗読、署名押印し、法令順守と公平公正な職務遂行を誓うことになっています。

法治国家、民主主義国家の自治体職員が、任務に就く前に市民に対して、法令に基づかずに市民の権利を奪ったり義務なきことを課したりしないこと、特定の市民や事業者に利益誘導したり手心を加えたりしないことを誓う制度の本旨を考えれば、デジタル化の流れにあるからといって安易に簡略化することなどできないはずです。実際に、押印のみを廃止する内容の条例改正にとどめている自治体が多数です。

■違法行為を正当化する条例改正

さらに呆れたことに、生駒市では相当年数、面前朗読・署名をしておらず、条例違反の状態にあったことがわかりました。自らの違法行為を隠蔽し、正当化するための条例改正にすぎませんが、採決の結果、押印のみを廃止する修正案は否決され、改正条例原案が可決されてしまいました。

小紫市長は入庁前の研修で意識付けを図っているから問題ないと答弁しましたが、意識付けの研修の成果が「条例違反」では説得力もありません。

■不当要求を断れる勇気ある職員に

今の生駒市の採用試験は、適性検査と面接、小論文だけで、教養・専門科目試験がなく、基礎的な法務知識も求められていません。係長試験もなくなったため、そこでも学ぶ機会が失われています。

宣誓したからといって、順法精神が直ちに根付くわけではありませんが、入庁時にまずは宣誓の意義を心に刻み付け、折に触れて再確認する機会を設けることが必要ではないでしょうか。市民のために働き、市長や上司から理不尽な要求があっても、それを断われる勇気のある職員であってほしいものです。

宣　誓　書

私はここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ擁護することを固く誓います。

私は地方自治の本旨を体し全体の奉仕者として公務を民主的かつ効率的に運営すべき責務を深く自覚し誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います。

市長にこそ誓っていただきたい宣誓書です。

●職員の服務の宣誓に関する条例改正案の採決結果　　中谷議長は議決に加わりません。

賛成 16	福中・白本・吉村(以上 凛翔 絆)、成田・恵比須・山下(以上 生駒市議会公明党)、梶井・中尾・中嶋(以上 緑生)、吉波(市民ネット)、山田(国民民主党)、上村(立憲民主党)、伊木・沢田・片山・加藤(以上 無会派)
反対 7	中浦・松本・改正(以上 大樹)、浜田・竹内(以上 日本共産党)、神山・塩見(以上 無会派)

茶論（サロン）・de（ド）・403（しおみ）

とき　2021 年 7 月 25 日
14 時～16 時

ところ　生駒市図書会館
第 3 研修室

テーマ　任期折り返し。小紫市政を検証する。

●当日ご体調の悪い方は参加をお控えください。
●検温、手指の消毒、マスクの着用にご協力ください。
●受付で連絡先のご記入をお願いします。
●飲料等は各自でご持参ください。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関するアンケートのお願い

右の QR コードをスマートフォンでお読み取りください。
パソコンからは、ご面倒ですが次の URL をご入力ください。

https://bit.ly/3yF79L2

編集後記

●いずれは全員接種できるワクチン、自治体間で競いあっても仕方ないというご意見もありますが、ご高齢者の接種が終わらないことには64歳以下の接種に進みません。若い世代は、重症化のリスクは低くても感染リスクは高く、多くの市民が一日も早く、安心して日常生活が営めるようにするのは自治体の務めです。●非常時にこそ首長の手腕が問われます。皆さんは今回の生駒市のワクチン接種の対応をどのように評価しておいででしょうか。　塩見 牧子

発行責任者：塩見牧子
〒630-0213　生駒市東生駒 1-215-402　TEL:090-3057-7406　FAX:0743-74-8518
✉ : shiomi753@yahoo.co.jp　Web: http://shiomimakiko.com
blog　Facebook　Twitter

“まっすぐ”が通る生駒に！

塩見まきこ（しおみ）

市議会 newsletter　2021 年／夏号

巻頭言　尊厳をもって生きる
Page2　高齢者、障がい者の権利擁護の取組の拡充を
Page3　なぜ遅れた？生駒市の新型コロナウイルス感染症ワクチン接種
とうとう 379 位に！生駒市議会の議会改革度ランキング
Page4　服務宣誓の重みは？
茶論・de・403 のご案内／新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関するアンケートのお願い／編集後記

塩見牧子（しおみまきこ）　1965 年 3 月 8 日大阪生まれ。1972 年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て 2007 年 4 月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。